

# OUR 新日本スポーツ連盟東京都連盟

# SPORTS

〒170-0013 豊島区東池袋 2-39-2  
大住ビル 401  
TEL: 03-3981-1345 FAX: 03-3981-8315  
E-mail njsf@tokyo.email.ne.jp  
3月号 2009年3月10日

## 競技も交流会も大いに盛り上がる

### 第45回東京スポーツ祭典

### 第33回東京スキー競技大会

東京スキー協 1月31日～2月1日



個人総合1位の本多選手の華麗な滑り



前走スパイ◯ーマンはスノーボードで…

標高が低いとはいえ、地球温暖化を感じざるをえない雨の中、第33回東京スキー競技大会が1月31日、2月1日の2日間にわたって開催されました。会場は、例年と同じく新潟県南魚沼のセントレジャー舞子スノーリゾートです。今回の大会は、東京スキー協創立40周年を記念するものであり、第45回東京スポーツ祭典の一環として開催されました。

#### 悪天候でも元気よく！

大会のエントリー人数は109名と、昨年に比べ約1割の減。不況や雪不足などが影響し、「記念大会」としてはちょっと寂しい数字でした。しかし、幸いにも、雨はコースコンディションにそれほど影響せず、大会そのものは元気に開催されました。これはスキー協の役員のみならず、民宿やスキー場からの人的支援など、様々な形で大会成功にむけたご協力をいただき

たことが大きな要因でした。

大会は、初日2本、二日目1本の大回転競技で、二日間合計の個人戦と団体戦が、あわせて行われました。団体優勝は、23名の選手を擁した「スラロームSC」、常勝の「ATTACK」は2位となりました。個人戦では年齢別の各クラスの他、全クラス総合で男女別の表彰も行われ、「シーハイルSC」の本多夫妻が男女とも総合1位となりました。昨年は「高島平SC」の坂井夫妻が男女とも総合1位になったことも



交流会では中間発表が行われ盛り上がった

あり（今年はおめでたで出場できず…）、来年以降の夫婦対決の行方が気になるところです。

#### 交流会や仮装滑走で盛り上がる

31日夜の交流会と2日の表彰式では、民宿からお米（南魚沼産コシヒカリ！）やスキー場、スキー学校から様々な賞品が提供され、おおいに盛り上がりました。

また、盛り上げの一環として、スパ◯ダーマンや赤鬼が前走として参加し（舞子スキー場提供）、「前走☆番、ス◯イダーマン、ニューヨーク摩天楼、スタート！」のアナウンスが行われると、スキー場が笑いに包まれました。

（編集委員井上）

# クラブ・チームが、企画し運営する東京バレー協となるために

東京バレーボール協議会第14回総会

1月21日

今回の総会は、私自身のこれまでの会長職としての反省点も含め、次の点をきちんと総括し加盟クラブが共同して運営を進める第一歩とするために開催しました。なお、この整理にあたっては、東京都連盟の協力も得ておこなわれました。

ひとつは、2000年に第13回総会を開いてから、総会を開けず、協議会運営を行なってきた体制を立て直すこと。結成当初『クラブ・チームが、企画し運営する東京バレー協』をスローガンに運営してきましたが、いつからか会議も開かず、一部の人の負担で運営がされてきました。このままでは、各クラブの要求や意見、要望が反映される運営が難しくなっています。二つめは、クラブの側でもクラブの練習が日常的に行なうことが困難で、試合当日しか顔をあわせる機会がなくなっていたり、協議会側としても施設利用料の高騰や都立体育館減少の理由などに

より、これに対処できず、リーグ戦が半年以上もずれ込むという異常が、ここ数年続いていました。これをどこかで改善し、正常に戻すことが必要でした。三つめは、東京バレー協は少ない人数で運営をし、経費を抑えてきましたが、体育館施設の使用料の高騰、景気の悪化が続き、財政面での見直しが急務となっていました。

そこで会長の判断でクラブの貴重なお意見を聞きたく、昨年11月20日に結成当時から頑張っているチーム、日常的に運営に協力してくれるチームに集まっていただき、さまざまな貴重な意見、アドバイスをいただきました。すべてのクラブが自分たちも参加して民主的な運営を望んでいました。

結成当初の気持ちにかえり、『クラブ・チームが、企画し運営する東京バレー協』のスローガンをかかげ、組織を再構築することを目標に1月21日に総会を東京体育館会議室で開きまし

た。総会では、5チーム総当りのリーグ戦から4チーム総当りのリーグ戦にしました。試合数が減りますが、加盟登録費を据え置き、実質の値上げとして単年度黒字を目指すこととしました。

協議会運営は、各クラブから選出された理事で運営し、日常的な運営を常任理事が行なうこととし、会長、副会長、理事長、副理事長を決めました。なお、ミックスバレーが盛んになっている現状も考慮し、東京バレー協として今後の関係もつくるために、ミックスバレーが盛んな北区のバレー協からも役員に入ってもらいました。

(東京バレー協 田中)

会 長	田中 邦雄
副 会 長	牛嶋 正幸 峰村 光男
理 事 長	田中 邦雄(兼任)
副理事長	鎗 清二 矢上満則 佐々木久江 大平 一夫

## 初心者も、ベテランもみんなが楽しめる！

第6回東京水泳フェスティバル 2月11日

6年目の開催となる「第6回東京水泳フェスティバル」が2月11日、東京辰巳国際水泳場で開催されました。今回は、昨年を上回る400名の参加で、時間いっぱいタイムテーブルとなるほど盛況な大会となりました。

東京水泳協は、これまでも辰巳国際水泳場という一流の会場を使用して大会を開催してきました。そこには、水泳協加盟クラブ外から多くの愛好者が参加し、誰でも参加できる一流の大会として広く愛好者に親しまれています。その一方で、「泳げるようになりたい」「健康のために水泳を始めたい」などの要求でクラブに加盟した愛好者の中には、競技大会に出場したことがないという人も多くいます。水泳協では、年齢や性別、技術レベルは様々でも、自分の目標を持ち、より上達しようという気持ちをつくる競技大会に、



「多くの人が参加しよう」と呼びかけています。

そして、一つのクラブに、競技大会に積極的に参加するクラブ員と未経験のクラブ員が混在している状況でも、みんなが楽しめる競技大会をつくることによって、協議会加盟クラブが交流できる場をつくることに努力してきたのが「東京水泳フェスティバル」です。

フェスティバルの種目には、ほかの大会と同じく公式のルールに基づいた種目のほかに、様々な種目が用意され



ています。「25m完泳」は、25mを泳ぎ切ることをめざす種目で、側泳者が認められています。また、子供が参加できる「ビート板レース」では、その名の通り、ビート板を使って泳ぎます。参加した子どもからは、「広いプールで泳げて気持ちよかった」などの感想が寄せられています。

クラブの要望から始まった「フェスティバル」を始め、多様な競技大会づくりを進めた中で、今年も、東京水泳協には4つのクラブが加盟しました。愛好者の要求に基づく多様なスポーツ活動を通して組織化を進める活動に注目が集まっています。

(編集委員・井上)

寒空の中、熱戦が繰り広げられる。新春オープンを開催し、  
関東ミックスダブルス大会主管 東京テニス協会

新日本スポーツ連盟東京都テニス協会は2月、有明テニスの森公園コートにおいて2日間にわたって新春オープン（個人種目5種目）を開催、2日目の22日は雨もうまくはずして、のべ約90人の参加者がありました。各優勝者は以下の通りです。男子ダブルスは、連盟杯に続いて近藤裕介・金子勇佑組が連勝したのをはじめ、女子ダブルスも野澤いづみ・須藤薫組、ミックスダブルスは、祖父江彩乃・中木村聡組が優勝。男子シングルスは小日向啓さん、女子シングルス田中里奈さんが優勝しました。

テニス協は新春オープンをはじめ、年間5大会を直接主催し、各区連盟代表も含めた都大会を毎年開催しスポー



上は野澤&須藤ペア、右は近藤&金子ペア



ツ連盟の全国スポーツ祭典・テニス選手権に代表を派遣しています。とくに近年はオープン大会である直接主催大会のレベルが向上しており、逆に連盟員自身の参加・加盟の拡大が課題となっています。

テニス協は、28日にも続けて、ス

スポーツ連盟全国テニス協会主催の関東ミックスダブルス大会を主管として開催しました。この大会は関東全域での連盟組織の拡大も目的にしており、優勝者は連盟の全国大会の出場権を獲得しました。（東京テニス協・年森）

勝っても負けても3試合以上楽しめる！登録チームによる登録チームのための大会  
「第62回NJSFクラブ対抗戦」 バドミントン協議会 2月21日

62回を数えるNJSFクラブ対抗リーグ戦は、首都圏の加盟クラブだけが出場できる男女別スリーダブルスの団体戦です。1日で終わりますが、勝っても負けても最低3対戦は試合を楽しめる加盟クラブのメインイベントです。体育館がなかなか確保できず、年末に実施する予定が、2月にやっと北区立滝野川体育館で開催できました。

土曜日にもかかわらず24チームが参加して、午後6時まで10面を埋めてプレー。勝てば上の部に昇格し、負ければ下の部に降格するリーグ戦なので、新規参入チーム以外はいつも実力伯仲の状態での対戦です。そのため、大体いつもおなじみのチームと戦うこととなりますが、以前負けた相手に今回は雪辱したいとか、目標を持って試合に臨めるようです。

例えば男子3部は最下位の部であるが、新規登録の「justみい」と「V

OLANO（ボラーノ）」を加えて4チームで総当たり戦を実施しました。いつも最下位の「バードBC」は初戦で「VOLANO」に1-2で負け。



大車輪の活躍を見せたコスモBCのみなさん

しかしその後の2戦を頑張り、2-1、2-1で2勝をあげ、わずかな差で3部優勝し、優勝チームに勝った「VOLANO」は残念ながら4位（最下位）

に。このようにどのチームも実力に大差がないためいい試合が味わえます。

しかしゼッケンを付けたがらない選手も多いなど、今後の改善点もありますが、けが人やトラブルもなく、運営当番の「コスモBC（神奈川）」は男子1部優勝、女子3位となり試合に運営に大活躍でした（写真）。他の種目の方から「バドミントンは運動量が多い」とよく言われます。もっと運動量が多いスポーツもあるでしょうが、とにかく一日中試合をしていれば帰りはくたくたで、手足

が痛い。でも勝った「コスモ」のメンバーの顔は輝いていました。

（東京バド協・大野）

### 金子さん プロフィール

新宿生まれ新宿育ち。子供のころは、たまに釣りをしていたくらいで、特定のスポーツをする事はなかったが、当時はみんな当たり前、原っぱなどで走り回って遊んでいたようだ。

高校は都立戸山高校（夜間）で空き時間にはよくプールで泳いでいた。のちにその経験を活かしてトライアスロンにも挑戦する。

40年ほど前からランニングをはじめ、今では毎日30km以上、時には100km近く走る事もある。スポーツ連盟との出会いはおよそ30年前。職場の同僚に誘われ、神奈川新春マソンや、多摩湖ロードレースに参加したのがはじまりでした。



うことになったんです。東京RCの競技大会はオープン参加ですから、誰でもが、国立競技場などの大きな会場で公認大会に参加できるという魅力を持っています。学校部活動の生徒たちや、投擲（とうてき）・障害レースなどの競技人口が少ない種目の選手、パラリンピック出場を目指している選手など、競技大会に出場する機会が少ない人たちにも大変喜ばれています。しかし、多くの種目を開催するためには、審判の確保など運営も大変でした。」

東京RCは、スポーツ連盟だけでなく東京陸協にも登録し、会員自身が公認審判員の資格も取る努力も行いながら競技大会を向上させてきました。そして、その努力に多くの陸連公認審判員の方々共鳴し、大会の運営への協力が広がったそうです。

### 「君が主人公」の活動で大きく

「これらの活動を通して、東京RCの魅力が広まっているんだと思います。ここ数年は会員が増えてきていて、一昨年は個人会員が154名だったけど去年は177人まで増えました。今年もさらに、拡大しそうですよ。この発展の原動力は、「スポーツは万人の権利」という精神で、「君が主人公」を合言葉に、運営や活動を地道に続けてきたことにあるんだと思います。これからも、この精神で仲間を増やしたいですね。」

こう力強く語る金子さんは、会長になって前任者の苦勞がよくわかった、ともつぶやきました。「でも、会長一人で何でもやるわけではないんだから、みんなをよく話し合いながら、参加者にもどんどん呼びかけて一緒にやるという姿勢をどこまでも追求していきたいね。」とのことでした。

(インタビュー：編集委員 渡辺)

東京ランニングクラブ（以下東京RC）は、ランニングや、陸上競技の愛好者の要求を受け止め、一緒に実現していくために様々な活動しています。その東京RCの今年の総会で新しく会長に選ばれたのが金子さんです。

「これまでの努力と成果をしっかりと引き継いでいきたいですね。年間通じて数多く行っている行事をしっかりとこなさなきゃ。」

新会長としての抱負を尋ねるとこう答えられました。

「今は第2次ランニングブームと言われているけど、一人でただ単に走っているだけでは、本当の魅力はわからないんじゃないかな。やっぱり、一緒に走る仲間が欲しくなる。そういう要求を叶えるために愛好者を組織していきたいと思います。」

### 多様な要求に応える努力を

仲間ができれば、普段の練習も楽しくなるのはどの競技も共通のようです。しかし、仲間ができればすべてが解決されるわけではありません。

「例えばランニングでは、走り始めれば、『もっと速く走りたい』と思うのは当然だし、『故障しないためにはどうすればいいか』などの疑問も出てきます。これらの声にこたえる形で2004年から月例ランニング講習会

を始めました。」

この月例講習会は、毎回ランナーの要求に合ったテーマで講義と実技の両方があることが好評で、参加者は確実に増えているそうです。そして、練習を積み重ねたランナーは、やはり、自分の実力を試したくなってきました。

「様々な要求にこたえるために、東京RCは様々な大会を開催しています。普通のロードレース大会はもちろん、『芝生とアップダウン』のクロスカントリーや、駅伝などにも挑戦しています。千葉県連盟や北区連盟との共催や、加盟クラブの主管開催など、みんなの力で多くの大会を開催する努力をしています。」

### 幅広い層の目標になる競技大会

陸上競技大会についても、年3回開催しています。現在では東京陸協（東京陸上競技協会）の公認大会として、国立競技場などの大規模な会場で600～800名規模で開催されるようになりましたが、そうなるまでには大変な苦勞があったそうです。

「東京RCとしては、最初はロードレースだけやっていたんですが、やはり陸上競技の要求にもこたえようとい

## 45回板橋区スポーツ連盟新年会と区連盟の集い

### —第45回板橋区スポーツ祭典表彰式 (2月22日)—

2月22日に、新年会と区連盟員の集いがスポーツ連盟板橋区連盟で開催されました。

会場は板橋区徳丸きたのホール 当日の参加数は54名でした。

(役員4名、卓球4名、バトミントン4名、野球19名、テニス7名、バレーボール16名)

まず主催者挨拶は間副理事長、乾杯は野球チーム、シュガーズの古林様。

乾杯後は料理や飲み物を頂き30分のご歓談。

その後出席者全員による簡単な自己紹介を兼ねてクラブの自己アピールで宴が盛り上がってきました。

そして種目別の表彰式では対象者に表彰状と副賞の賞品が渡されました。

## スポーツの輪を強め、大きくしていこう！

第46回都連盟総会の中心的なテーマについて井上事務局長に聞きました (聞き手：編集部渡辺)

**第46回都連盟総会が目前に迫っています。今回の総会の中心的なテーマはなんでしょう？**

いうまでもなく、日本の経済が深刻な不況に陥っていく中で、「派遣切り」などの雇用に関する問題や、社会保障の貧困な実態などが、スポーツに深刻な影響をもたらしています。「スポーツどころではない」という状況が広がる中で、これらの問題を無視することはできないというのは、みなさんの実感になっていると思います。

もう一つは、2016年にオリンピックを招致しようと「招致活動」を進めている東京都において、スポーツ振興行政がどうなっているのか。このことに対して、私たちはどのような態度をとるべきなのか、という問題です。これらの問題について、スポーツ団体として、日々の活動に努力しているみなさんの活動を基礎に、私たちの答えを出していくことが、今回の総会の大きな目的になります。

**「スポーツどころではない」という状況については、どのように考えていますか？**

特徴的なことは、スポーツに対するアプローチについて二極化が進んでいることと同時に、スポーツに対する期待は、以前にも増して高まっているということだと思います。

先日、派遣労働者の方々など、職場の労働組合には加盟できない人たちが加盟している「首都圏青年ユニオン」という労働組合と都連盟が懇談を行いました。組合の方からは、「組合員で継続的にリーグ戦などを開催するのは難しいと思います。」ということでした。それはそうでしょう。勤務時間なども不規則で、賃金も低く抑えられ、いつ解雇されるかわからないという状況ですから、日にちと時間をあわせて一つのスポーツに取り組むというのは、並大抵のことではないわけです。そこで、「例えば、卓球やテニスなどで、当日参加OK、初心者の方は、身一つで会場に来れば、道具もあって指導者が丁寧に教えてくれる。経験者の方はその場で組み合わせをしてゲームができるという企画だったらどうです

か？」と聞いたところ、「そういう企画であれば、みんな体を動かすことは好きですから、参加者は集まると思います。」ということでした。

仕事が大変だからといって「スポーツなんてやりたくない」というわけではないんですね。むしろ、「仲間と力を合わせて、あるいは刺激しあって楽しむ場がほしい」とか、「人と交流したい」という願いは強くなっていて、スポーツの場がより強く求められる社会になっているということだと思います。

私たちに求められていることは、より競技性の強い大会から、誰でも気軽に参加できる行事など、ますます多様になっています。同時に、施設の確保が困難であったり、新しい取り組みに挑戦するための人手が足りなかったりすることも課題となっていますので、総会決議案は、多様な活動を展開するために、連盟内外の様々な共同を広げる「スポーツの輪」を強め、大きくしていくことを呼びかけています。

**都連盟は来年までに2万人をめざすという目標を掲げていますが、現状はどうでしょう。**

分担金基準に基づく組織現勢では、目標を掲げた2006年の総会時の9200名という水準から微増という状況にとどまっています。しかし、社会状況が悪化し、都の調査でも都内のスポーツクラブ数と構成人員数が大幅に減少しているもとの、連盟が組織を減らさずにいることは、驚異的と言ってもいいかもしれません。

これまでも、多くの種目で、連盟外からも競技大会等に多くの参加者が集まっている状況のもと、その組織化をいかに進めるかが課題となっていました。そして、先に述べたように、さらに多様な取り組みに挑戦しようというわけです。私たちは、愛好者自身が組織をつくり、スポーツ活動を展開する組織ですから、こうした活動を実践するためには、連盟に期待する人、まだ連盟に出会っていない人に、「一緒にやりましょう」と声をかける必要があるでしょう。そうした連盟の飛躍をめざす組織化の目標としては、やはり「2万名」という数字の目標は今後も必要であると考えています。

今回の総会では、各組織がこの「2万名」という目標をより具体的な方針にしていくための議論を活発に行う契機としたいと思います。

**スポーツをする条件整備の問題と併せて、オリンピックについて期待する声もあると思うのですが、どのようにお考えですか？**

オリンピックに期待する人がその理由として掲げるもっとも多いものは「間近で見たい」というものです。スポーツを愛する人としては当然のことだと思います。同時に、多くの人々がオリンピックに期待している理由は、オ

リンピック憲章がスポーツの普及・発展とこれを通じた平和な社会の実現という理念を掲げていることに共感しているからだと思います。オリンピックは、過度な商業主義やドーピングの問題、大都市でなければ開催できないと言われるほど肥大化している問題など、様々な問題を抱えながらも、こうした理念を持っているからこそ、世界の人たちに愛されているのです。

しかし、東京都の招致活動とスポーツ振興行政はどうでしょうか。2月に立候補ファイルを提出したあたりから、「平和」「スポーツに大きく着目」ということを強調するようになりました。これが本心であればいいのですが、実際には、オリンピックを機に東京の再開を促進するということが根底にあることは変わっていません。そして、いまだに「スポーツは人権の一つである」という憲章に掲げられた立場には立とうとしません。これでは、オリンピックの政治利用という、これまでも問題になってきたオリンピックの抱える問題を増長させることになってしまいます。実際に、都のスポーツ振興予算は、「オリンピックと2013年の東京国体に向けた競技力向上施策」は増大する一方で、それ以外の大部分については、大幅な削減となっています。

私たちがこれまでも掲げてきた「スポーツは万人の権利」などのスローガンは、まさしくオリンピック憲章と立場を同じくするものです。オリンピック運動を発展させ、広くスポーツに期待する人たちの願いを実現するためにも、公共スポーツ施設の増設などが果たすべき役割は大きなものがあります。東京への招致については、現在の招致計画を一度白紙に戻し、全都民的な議論を喚起する必要があります。オリンピック運動が抱えている様々な課題をどのように解決し、掲げられた理念の実現に東京がどのように力をつくすのかという問題は、今年10月のIOC総会で東京が招致都市に選ば

るかどうにかかわらず、問われる問題です。

私たちは、これからも東京におけるスポーツの普及・発展に力を尽くすこと、とりわけ、東京都は、現在の東京においてこの運動に努力している団体や個人の声に耳を傾け、その要求実現に力を尽くすべきこと求めることを、私たちの「スポーツ権運動」の中心に据えていきたいと思っています。

総会では、条件整備の面で各組織がどのような困難に直面し、どのような取り組みを行っているのか、おおいに持ち寄っていただきたいと思っています。その声を東京都にも届けたいと思います。

**異議あり!**  
**2016**  
**石原オリンピック**

**経済効果があるってホント!?**  
**招致活動ってなにをしてるの?**

東京都の招致活動や  
オリンピック運動の今後について  
考えるついでを開催します  
ぜひ、ご参加ください

報告者：オリンピック招致による経済効果について  
中央大学商学部教授 徳重昌志さん  
東京都の招致活動の実態について  
日本共産党東京都議会議員団  
オリンピック運動の意義と東京におけるスポーツ振興の課題について  
新日本スポーツ連盟理事長 和良昭夫さん

**4月14日(火) 18時40分開始**  
会場 **文京区民センター会議室3-A** 参加費 **無料**

主催：「異議あり! 2016石原オリンピック」実行委員会  
呼びかけ人：新日本スポーツ連盟東京支部 自由民主党東京都支部 東京都民会 東京都民会つくろい会 東京都民会  
実行委員：新日本スポーツ連盟 自由民主党東京都支部 東京都民会 (2016年3月7日現在)

参加要項は裏面に

昨年末から行われてきた「オリンピック意見交流会」にて開催が決定したシンポジウムのチラシです。

**4月14日(火):文京区民センター  
会議室3-A : 18時40分開始**

(詳しくは7ページ目の第23回理事  
会報告をご覧ください。)

## 第28期第1回全国評議員会報告

### ◆全国の評議員から、 活気ある意見飛び交う

2月14日、15日と2日間に渡り、東京において標記の全国連盟評議員会が開催されました。

評議員会は総会に次ぐ決議機関であり、昨年3月の全国連盟総会以降の活動のまとめと来年の3月の総会までの方針を決める重要な会議です。

#### ①組織拡大の取り組みを強化

全国連盟の08年のまとめと09年の方針の提案、各部署からの提案を受け活発に論議されました。この間の重要課題である組織拡大の取り組みでは、08年は組織的には横バイであり、さほど増えなかったが、増えたところ、減っているところの状況をよく分析し、今年6月に開催される全国拡大交流会議にその成果を持ち寄り、一大飛躍を作り出していくことが確認されました。

#### ②韓国のスポーツ団体と交流

去年は体育・スポーツ国際憲章制定30周年にあたり、それを記念してシンポジウムが開催され、スポーツを権利として捉えていくことの重要性が喚起されました。また、連盟の招待に応えさんかした「韓国市民連帯」との交流が実現し、アジアでのスポーツ団体との交流の第一歩となりました。

#### ③機関誌の普及活動を活発に

「スポーツのひろば」は誌面の改善と普及キャンペーンを展開して、減誌傾向は克服しつつありますが、増やすための取り組みが更に必要です。

#### ④分担金のシステムを改正

「組織ランク別分担金」制度の導入が提案され、09年1月にさかのぼって実施されることが決定されました。この制度のねらいは、当初、組織拡大の目標値をクリアした時点での適用を検討していましたが、今日の経済危機の下でできる限り各組織の負担を軽減していくため、「現在の組織現勢のままで全ての組織に導入する」としました。

#### ⑤09年サマースポーツセミナーは石川県

2年ぶりにサマースポーツセミナーが8月29～30日、石川県で開催されることが決まりました。

#### ⑥「フェアプレイ宣言」を発表

この宣言は15日に発表され、フェアプレイをスポーツの振興と発展のための中心的な課題に位置づけ、それを発揮することをすべてのスポーツ関係者にあらためてよびかけるものです。

(編集委員北川)

## 第23回理事会報告

#### ①オリンピック意見交換会

シンポジウムは4/14文京区民センターで開催することとする。タイトルは「異議あり！2016石原オリンピック」。内容は都が主張する「経済効果」や都招致活動の検証、オリンピック運動と東京のスポーツの実際などについて。シンポジストの一人として新日本スポーツ連盟の和食理事長が発言します。多くの方の参加を待っています。(チラシを6ページ目に掲載しておきました)

#### ②評議員会報告(前号参照)

#### ③第28回全国スポーツ祭典

1/20実行委員会と、2/5推進事務局会議について報告。従来の全国大会的な開催形態以外にも、昨今の情勢に対応する「誰でも参加できる形」を模索する。ポスター・リーフレットなどについても見直し、今秋の全国競技大会から活用できる宣伝方法を行う。祭典の原点に立ち返り、労働組合など他団体との共同をめざす、等

#### ④3/14都連盟総会準備

代議員・役員推薦等の報告。総会議案の検討。議案検討委員会を開催し、議案を練り上げることなどを決定。議案検討委員会は、2/10開催

### 取り組みの経過と今後の予定

- 2/9 第23回理事会
- 2/14 全国連盟評議員会(萩原、阿部)
- 2/17 第3回オリンピック意見交換会
- 2/17 第28回全国祭典推進事務局会議
- 2/17 関東ブロック会議
- 2/26 共済東京懇話会
- 2/26-3/10 FSGTスキー代表団来日
- 3/5 「OUR SPORTS 東京」編集会議
- 3/9 第24回理事会

※3月14日(土) 10時～4時

東京都連盟第46回総会

会場：江東区 古石場文化センター

# 都連盟スポーツカレンダー 2009年4,5月

都種目組織	期日	行事名	会場
卓球協議会	4月25日	男子年齢別大会	上板橋体育館
	4月26日～5月26日	前期東京リーグ	東京体育館、上板橋体育館、中野体育館等
	5月9日	MIX団体	上板橋体育館
	5月13日	関東オープン3D大会	東京体育館
ランニングクラブ	4月4日	春季陸上大会	駒沢オリンピック公園陸上競技場
	4月26日	月例ランニング講習会	深川北スポーツセンター・木場公園
	5月10日	第7回多摩川ロードレース大会	多摩川・国立ランニングコース
水泳協議会	4月19日	第1回オールエイジ水泳大会	東京辰巳国際水泳場
	5月24日	第17回東京辰巳水泳大会	東京辰巳国際水泳場
サッカー協議会	4月の日曜	春季トーナメント大会	
	4月の日曜	2009年リーグ	
バドミントン	4月1,2日	春季高校生オープン	大森スポーツセンター
	5月5日	第6回東京春季スポーツフェスティバル	大森スポーツセンター
テニス	4月5,12日	春季フェスティバル	都立小金井公園
野球連盟	4月5,19日	リーグ戦	中央公園野球場、新荒川大橋野球場
	4月22日	全国選抜・予選会	埼玉
バスケットボール	5月3日、17日	春季フェスティバル	桐ヶ丘体育館、十条台小学校
スキー	4月11,12日	山スキー教室	山形・月山
	4月18,19日	第1回スプリングフリーレッスン	かぐらスキー場
空手	5月10日	春季フェスティバル	東京武道館
剣道	5月31日	春季フェスティバル	東京武道館

地域連盟・地域組織	期日	行事名	会場
北区連盟			
卓球	4月4日	ダブルス大会	桐ヶ丘体育館
ランニング	4月26日	月例赤羽マラソン	岩淵堤防土手
練馬区連盟			
テニス	4月11,19,26,29日	第33回春季テニス大会	土支田テニスコート
卓球	4月19日	春季大会	上石神井体育館
板橋区連盟			
バドミントン	4月4日	第46回板橋スポーツ祭典	上板橋体育館
卓球	5月2日	板橋スポーツ祭典ペアマッチ卓球大会	上板橋体育館
杉並区連盟			
卓球	5月31日	杉並前期リーグ	上井草スポーツセンター
中野区連盟			
卓球	4月19日	春季大会	中野体育館
バドミントン	4月29日	第21回東京中野オープン	中野体育館
多摩地区			
卓球	4月15日	女子ダブルス大会	柴崎体育館
ランニング	4月12日	月例多摩川ロードレース	多摩川・国立ランニングコース
江戸川卓球協議会			
卓球	5月4日	ペアマッチオープン大会	江戸川区総合体育館
大田卓球協議会			
卓球	5月8日	ペアマッチ卓球大会	大森スポーツセンター

## 編集後記

ひょんなことから児童館の子どもの卓球指導をすることになった。小学2～5年生までの子ども10数人相手に卓球を教えるのは至難の業だろうなど思ったが、そうでもない。意外と素直に話を聞いてくれる。たぶん卓球が好きなんだろう。週1回の卓球教室だが、次の週になると急に変なサーブを覚えたりする。こんなテキトウな教え方をしても子どもは勝手にうまくなるのだから、もう少しちゃんとした指導者が教えればみんな鬼のように強くなることだろう。来月には「児童館対抗卓球大会」が行われる予定だ。一体どうなることやら…。(編集委員佐藤)